

プレカット ニュース

一般社団法人 全国木造住宅機械プレカット協会

東京都千代田区永田町2丁目4番3号永田町ビル6階

TEL 03 (3580) 3215 FAX 03 (3580) 3226

<http://www.precut-kyokai.com>

令和元年度プレカット部材共済会通常総会を開催

— 瑕疵保証付き部材で安全安心の提供を —

全国住宅プレカット部材共済会は、令和元年度第1回理事会・第17回通常総会を令和元年10月2日（水）に永田町ビル4階 一般社団法人日本治山治水協会大会議室において開催しました。

総会の冒頭、原田会長から「平成30年度事業は、最少目標棟数を734棟として、平成30年8月8日にスタートし、この達成のため、事業参加会員の皆様にご努力・ご協力をお願いすることで事業に取り組んだが、保証書発行棟数は445棟で事業を終了することになった。

最近の住宅着工戸数の動向は、年率換算値で見ると90万戸前後で推移し、住宅需要は一段落した状況になっている。このような中で、公共建築物木造化促進等の非住宅分野での一般流通材を使用した木造建築物が増加していることから、会員の皆さんにおいては、今後、需要が見込まれる非住宅分野の木造建築物用プレカット部材供給の新たな販売ツールとして活用していただけると期待している。

改めて、全会員がプレカット部材瑕疵保証事業の役割の重要性を再認識し、共済会のプレカット部材瑕疵保証事業が会員の相互扶助の精神に基づき充実しつつ、今年度においては、ぜひ目標棟数の確保が図れるよう、会員の皆様の忌憚のないご意見ご助言を頂き、令和元年度事業計画を決定していただきたく、ご審議の程をよろしく願います。」旨の挨拶がありました。

議事では、平成30年度事業報告及び収支決算報告、令和元年度事業計画（案）及び収支予算（案）が提案、承認されました。特に、元年度においては、会員の安定経営のためのリスク保全事業の一部として、29年度から新たにプレカットミス賠償責任保険制度による事業を展開し、継続して加入促進を図りつつ、その円滑な事業推進に努める。また、①共済会とプレカット協会との連携強化、②共済会会員の啓発活動の推進、③顧客への普及活動の強化を重点的に講じることといたしました。

議事終了後、プレカット部材瑕疵保証事業の協力会社であるM&Kコンサルタンツ(株)大串企画開発部長から、住宅瑕疵保険の現状とプレカット部材瑕疵保証制度について講演が行われました。その中で、2019年10月に住宅瑕疵担保履行法完全施行から10年を迎えるにあたり、国交省が今後のあり方について2018年7月より検討会を開催していることに触れ、その検討会の一部資料の説明がありました。その資料に関連してプレカット瑕疵保証制度について改めて『プレカット瑕疵保証制度はプレカット部材の品質が高いからこそ保証を提供することができる旨のアピールをビルダーに行い、「他社との差別化」や「トラブル防止」に利用して欲しいと伝えることが重要です』と強調されました。

なお、平成29年度からスタートしたプレカットミス賠償責任保険制度について、制度内容説明と平成30年度の保険金支払事故が5件あったことの報告があり、それぞれの支払事例についての説明と、共済会会員への更なる加入促進についての案内がありました。

協会会員工場基礎調査結果について（平成30年度第3回）

平成30年12月末現在で調査（工場数39）

1 主要構造材加工設備の保有数等

		なし	1	2	3	4台以上	計	1工場当り 平均保有数	(前年平均)
横架材 加工 ライン	工場数	3	15	14	3	4	39		
	延台数	0	15	28	9	28	80	2.05	(2.09)
	うち金物対応 工場率 (%)	0	73	79	100	75	72		
柱 加工 ライン	工場数	2	18	13	2	4	39		
	延台数	0	18	26	6	26	76	1.95	(1.85)
	うち金物対応 工場率 (%)	0	61	85	100	75	69		
複 合 ライン	工場数	33	6	0	0	0	39		
	延台数	0	6	0	0	0	6	0.15	(0.21)
	うち金物対応 工場率 (%)	0	100	0	0	0	15		
ロ ボ ット	工場数	26	11	2	0	0	39		
	延台数	0	11	4	0	0	15	0.38	(0.38)
合計 (延台数)		0	50	58	15	54	177		

2 羽柄材加工設備等の導入状況

		保有台数別工場数					導入を 予定	導入を 検討中	予定 なし	合計
		1台	2台	3台	4台以上	計				
羽柄材 加工 設備	工場数	13	16	4	2	35	0	2	2	39
	割合 (%)	33.3	41.0	10.3	5.1	89.7	0	5.1	5.1	100
	(前年割合 (%))	(38.3)	(36.2)	(10.6)	(10.6)	(95.7)	(0)	(0)	(4.3)	(100)
パネル 加工 設備	工場数	17	11	2	3	33	0	2	4	39
	割合 (%)	43.6	28.2	5.1	7.7	84.6	0	5.1	10.3	100
	(前年割合 (%))	(40.4)	(23.4)	(10.6)	(8.5)	(83.0)	(2.1)	(0)	(14.9)	(100)
大断面 加工 設備	工場数	12	1	0	0	13	1	2	23	39
	割合 (%)	30.8	2.6	0	0	33.3	2.6	5.1	59.0	100
	(前年割合 (%))	(27.7)	(6.4)	(0)	(0)	(34.1)	(2.1)	(6.4)	(57.4)	(100)

◇簡単なコメント

- 1 1工場当たりの各加工ラインの数を前回調査時（平成29年12月）と比べると、今回は回答いただいた工場数が39と前回の47より減少しています。こういった要因もありましたが、傾向としては横架材ライン、柱加工ライン及びロボットではともに大きな変化はみられませんでした。最近の横架材加工ライン等でも多様な部材加工が可能となってきたことから、工場の生産効率を高めるため、従来からの既存設備が見直されつつあることも一因とみられます。
- 2 羽柄材加工設備は、4社を除き調査工場で設置されており、また、パネル加工設備も前年同様8割以上の工場で設置されています。既に、これらはプレカット工場にとってスタンダードな設備といえるでしょう。
- 3 一方、近年調査を始めた大断面加工設備は、約1/3の工場で設置され前回とほぼ同様の設置工場数となっています。今後も、導入を検討されている工場も見られ、新たな需要分野である非住宅木造建築物に対応するため、導入が促進されるものと推測されます。

プレカット業況調査 (令和元年8月期)

一般社団法人全国木造住宅機械プレカット協会調べ (回答率: 45 %)

設 問	回答比率 (%)			DI	前回DI
	(1)	(2)	(3)		
1-1 今月の受注額は3ヵ月前と比べて如何ですか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	10	72	17	-7	+34
1-2 3ヵ月後の受注額をどう予測しますか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	17	59	24	-7	+20
2-1 貴社の坪当たり平均総加工単価はいくらですか。	答: 6,000円(対前回調査±0円)				
3-1 今月の製品加工単価は3ヵ月前と比べて如何ですか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	3	90	7	-4	+4
3-2 3ヵ月後の受注額をどう予測しますか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	3	86	10	-7	±0
4-1 今月の資材(製品)入手状況は如何ですか。 (1) 容易 (2) 変わらず (3) 困難	31	62	7	+24	+17
4-2 3ヵ月後の資材(製品)入手状況をどう予測しますか。 (1) 容易 (2) 変わらず (3) 困難	28	59	14	+14	+3
5-1 今月の収益は3ヵ月前と比べて如何ですか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	3	86	10	-7	+13
5-2 3ヵ月後の収益をどう予測しますか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	10	59	31	-21	+10

*DI=(1)の%- (3)の%、+の数値が大きいほど好況、-の数値が大きいほど不況。

*前回調査: 令和元年5月

◇簡単なコメント

8月の各設問のDIをみると、受注額については、悪化の会員が好転を上回り、同様に今後についても悪化の予想が上回っている。収益についても、悪化が好転を上回っていて、今後についても悪化の予想がさらに上回っている。加工単価については大半の会員が変わらずの状況であり、3ヵ月後についてもほぼ変動がないと予想している。また、資材の入手状況は、市況が軟化しているためか現状、先行きとも容易な予想となっている。今後は、消費増税の影響も考えられるが、受注額と収益が改善されることを期待したい。

- 1 受注額のDIは-7で前回調査時(令和元年5月期)に比べて、悪化の現状にあるようで、新設住宅着工戸数の動向若しくは天候不順等を反映しているものと思われる。また、3ヶ月後の予測のDIは-7で現状と同じく悪化の予想が上回っている。今後は、予想を覆すような業況の改善と活性化を期待したい。
- 2 3ヵ月前と比較した製品加工単価のDIは-4と大半の会員は変わらずの状況となっている。平均総加工単価も6,000円と3ヵ月前と比べて変わらずとなっている。3ヵ月後の製品加工単価のDIは-7であるが、加工単価の変動はさほどない現状にあるといえる。
- 3 資材入手状況のDIは+24で改善してきている。3ヵ月後の予測のDIは+14であり、大半の会員は現状維持以上の予想としている。
- 4 3ヵ月前と比べた今月の収益のDIは-7と受注額同様悪化の傾向がみられている。前回調査時の3ヶ月後の収益予測は+10であったが数字は逆の結果となっている。さらに、3ヶ月後の収益予測は-21と、今の不調が引き続き見通しとなっている。

全国住宅プレカット部材共済会の各種制度



プレカット部材瑕疵保証制度

会員企業が加工・販売したプレカット部材について、販売先の建物施工業者に対して大手損害保険会社による10年間の瑕疵保証責任保険を付保する制度。

優れた品質管理をアピールすることが可能！



プレカットミス賠償責任保険制度

会員企業が行ったプレカット業務において発生した「加工ミス」に起因して、その会員企業に提起された損害賠償請求等について法律上の賠償責任を負担することによって被る損害を補償する制度。

「団体保険制度」なので、しくみや補償内容が充実！



【制度の概要】

プレカット業務において発生した加工誤り等が原因で...



- ①プレカット伏図作成ミス
- ②プレカット機械へのデータ入力ミス
- ③プレカット機械の加工・切断ミス
- ④プレカット部材の樹種等選定ミス
- ⑤加工部材出荷時における検品ミス

プレカット工場出荷日以降に以下のようなことが発覚し...



【例】寸法間違い（長さ・梁せい）／材の樹種間違い／仕口等のカットミス 等

取引先（建築業者）や施主に発生した費用について



【例】追加で発生した職人の人件費／完成遅延による施主仮住居費用 等

法律上の損害賠償を請求されたとき

**法律上の損害賠償金／プレカット材再加工費用／訴訟対応費用
を保険金としてお支払いします！**



弁護士相談サービス

顧問弁護士：匠総合法律事務所
<http://takumilaw.com/>

プレカット業界、住宅業界をよく理解している共済会顧問弁護士（匠総合法律事務所）へ気軽に相談を行うことができる制度。

会員企業の立場でアドバイス！



令和元年度プレカットCAD技術者研修の予定

元年度のプレカットCAD技術者研修の開催予定は下記のとおりです。受講申込みは、各コース別に11月中旬以降開始する予定です。なお、1級コースの受講資格は、既に当協会のプレカットCAD技術者2級に登録されている方といたします。

なお、登録更新研修の受講者につきましては、2・3級は24年度登録者の翌年度受講者と25年度登録者のうち更新希望者及び1級は25年度登録者のうち更新希望者となります。

研修コース	年月日	会場	定員
2、3級コース	令和2年2月4・5日	東京：木材会館	70名
1級コース	令和2年3月2・3日	東京：木材会館	20名
2級登録更新	令和2年2月18日	東京：木材会館	40名
1級登録更新	令和2年3月10日	東京：未定	15名